

● フィルターの交換

下記の場合は速やかに交換してください。

- ① フィルターが著しく汚れたり、外観に変形等が見られた場合
- ② バッテリーが十分あっても風量が十分でない場合

● 保守・保管

取扱いは丁寧に行ってください。

保管場所は、高温な所、多湿な所、極端に低温な所などは避けてください。

■ レンズについて

① レンズにキズが付かないように取り扱ってください。

- レンズを直接他の物体に接触させないでください。
- 本製品を置くときは必ずレンズ面を上向きまたは横向きにしてください。

② 常にレンズはきれいにしてください。

- ゴミ、ホコリが付着した場合は水を含ませた柔らかい布等で汚れを掃い落してください。
- 使用後はレンズ及び各部の汚れを落とし、粉じん等が付着しない場所で保管してください。

■ フードについて

① 汚れた場合はヘッドギアから外して洗浄してください。

■ ファンユニットについて

- ① 電気部品ですので落としたりぶつけたりしないでください。
- ② 絶対に充電端子に水滴をつけるなどしてショートさせないでください。
- ③ ファンユニット内を高圧エアで吹き飛ばしたり、水洗いは絶対に行わないでください。

■ バッテリーについて

バッテリーに付属の取扱説明書をご確認ください。

■ フィルターユニット

- 高圧エアで吹き飛ばしたり、水洗いは絶対に行わないでください。
- フィルターユニット内部に物を差し込んだり、指でつついたりしないでください。
- フィルターユニットの側面を強く押ししたり、押さえたりしないでください。

● 性能

■ スペック

項目	社内基準値	測定値(平均値)
NaCl 粒子捕集効率	99.0% 以上	99.99%
風量 ※1	120L / 毎分以上	140L / 毎分
連結管強度 ※2	50N 以上	>196N
騒音	80dB 以下	69dB
稼働時間	-	約 7.0 時間
質量	-	約 1.3 kg ※3

■ ファンユニット仕様

定格電圧	DC5V(充電式)
使用温度範囲	5℃～40℃
モーター寿命	1700 時間以上
サイズ	W130×H205×D90 (mm)

- ※1：当社規定のフィルタ、フードを装着した場合の風量
 ※2：ファンユニットとダクトホースの連結強度
 ※3：フード(ヘッドギア・レンズ付)、ダクトホース、腰ベルト、ファンユニット、フィルターユニット、DCコード、バッテリー、バッテリーポーチの総質量

YK 山本光学株式会社

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8
 本社 TEL 06-6783-1101 東京支店 TEL 03-3868-5503
 URL : <https://yk-yamamoto.co.jp/>

YK
YAMAMOTO

電動ファン式発じん抑制システム LS-780C 取扱説明書

YTS-445

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この製品を正しく安全に使い、機能を十分生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。この説明書は、読み終わった後も大切に保管してください。本製品の使用によって身体の損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

● ご使用上の注意

この取扱説明書は本製品の使用者以外が取り除かないでください。製造元、販売店は本製品に破損が生じないこと、および本製品の使用によって身体の損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。この取扱説明書は「危険」「警告」「注意」を記載しています。以下が定義ですので内容をよく理解した上で本文をお読みください。



危険 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷に至る切迫した危険な状態を指す。



警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または、重傷に至る可能性のある危険な状態を指す。



注意 取扱いを誤った場合、使用者が軽症を負うかまたは、物的損傷のみが発生する可能性のある危険な状態を指す。

● 本製品の用途

本製品は、人体より発生する粉じんをフィルターでろ過し清浄空気を下方に排出するため、下記の作業環境に役立ちます。

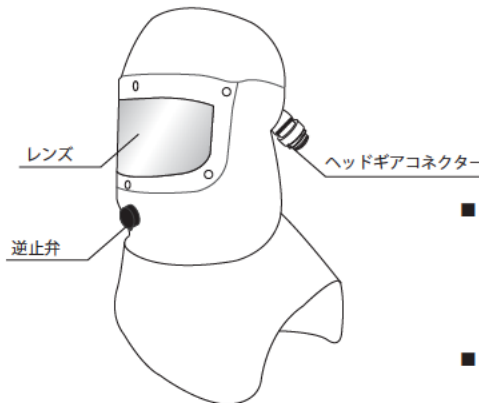
半導体、液晶、製薬、医療等のクリーンルーム内作業



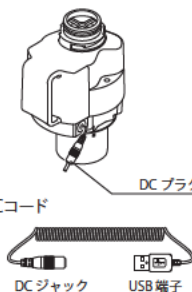
上記以外の用途に使用しないでください。

● パッケージ内容・各部の名称

■ フード(ヘッドギア内蔵)



■ ファンユニット



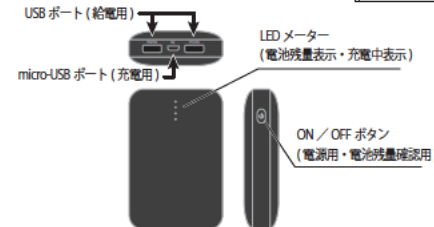
■ フィルターユニット



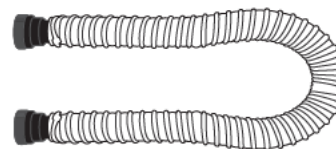
■ バッテリーポーチ



■ リチウムイオンバッテリー (BA-780バッテリー(PB-003)) ※以下バッテリー



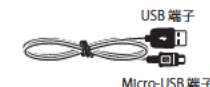
■ ダクトホース



■ 腰ベルト



■ 充電用USBコード



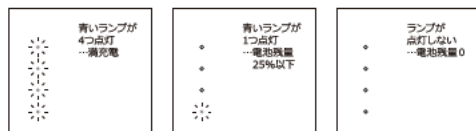
●ご使用になる前に

本製品は弊社品質基準に合格しております。製品には万全を期していますが輸送途上等にキズや変形、ネジのゆるみ等が生じる場合があります。ご使用になる時は、必ず事前に破損がないか点検してください。
 バッテリーユニットは出荷時に充電しておりますが、自然に放電します。
 ご使用になる前には必ず充電してからお使いください。

■**バッテリー残量の確認** ※バッテリーに付属の取扱説明書に合わせてご覧ください。

- ファンユニットへの接続中に本体上面のLEDメーターでバッテリー残量を確認できます。
- バッテリー残量は4段階25%刻みで表示されます。
- 本製品を使用していない時や、本製品の充電中もON/OFFボタンを押すことでバッテリー残量を確認できます。

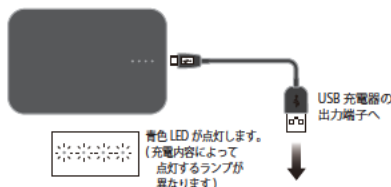
LEDメーターの表示例



■バッテリーの充電方法

市販のUSB充電器を利用して充電を行ってください。
 出力電流1A以上のものをご使用ください。
 出力電流2A以上のものを推奨します。

- 付属ケーブルのmicro-USB端子をバッテリーのmicro-USBポートに、USB端子をUSB充電器に接続することでバッテリーの充電が始まります。
- 充電中はLEDメーターの青いランプが点灯します。

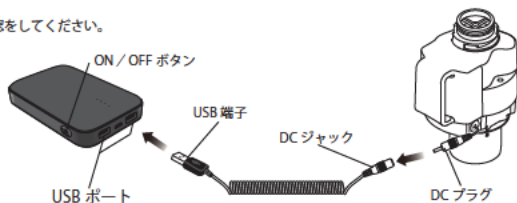


注意

- 付属以外の接続コードを使用しないでください。
- ラジオ、テレビなどに雑音が入るときは、なるべく離れた場所で充電してください。

■ファンユニットの動作確認方法

※使用前に必ず動作確認をしてください。
 ファンユニットのプラグをDCコードのジャックに差し込み、USB端子をバッテリーのUSBポートに差し込むことでファンユニットとバッテリーを接続します。
 バッテリーのON/OFFボタンを押して、電動ファンを起動させ、異常がないか確認します。



●組立方法

各接続部分に隙間ができないようにしっかりと接続してください。

■フードとダクトホースの接続方法

ダクトホースコネクターの凹部とヘッドギアコネクターの凸部を合わせ、ダクトホースコネクターの可動部を少し押し込んで、時計回りに回転させて接続してください。



■ファンユニットとダクトホースの接続方法

ダクトホースコネクターの凹部とファンユニットの凸部を合わせ、ダクトホースコネクターの可動部を少し押し込んで、時計回りに回転させて接続してください。

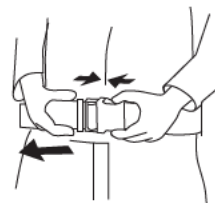


■ファンユニットとフィルターユニットの接続方法

ファンユニットのツメとフィルターユニットの凹部を合わせ、ファンユニットを押し込んで、時計回りに回転させて接続してください。

●装着方法

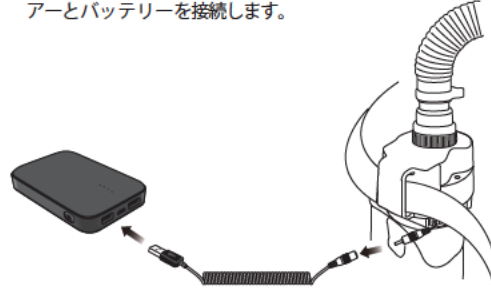
①ファンユニットとバッテリーポーチをベルトに通し、腰ベルトを締めてください。ベルトを引っ張って長すぎる場合は、押さえ部品で調整してください。



②ヘッドギアをかぶり黒いコックが後頭部になるように調整してください。黒いコックを回転することでサイズを調整できます。フードのすそをウエア内に収めてください。すそが出ていると性能が出ない場合があります。



③ファンユニットのプラグをDCコードのジャックに差し込み、USB端子をバッテリーのUSBポートに差し込むことでプロアとバッテリーを接続します。



④バッテリーのON/OFFボタンを1回押してください。このときバッテリーのLEDメーターが青色に点灯すれば通常使用可能です。点灯しない場合、バッテリー残量がなくなっていることが考えられます。フィルター下部から風が出ていれば動作状態です。使用後はバッテリーのON/OFFボタンを1秒以上押すと動作OFFとなります。



⑤バッテリーをバッテリーポーチに収納してください。

●改造・修理等

ご使用者による改造、修理等は事故、破損の原因となり危険ですので、絶対におやめください。

- ①製品の改造、後加工
- ②破損部分の接着剤等による修理 など

●お手入れ

注意

- オートクレープによる高圧蒸気滅菌やEOGによるガス殺菌は本体が変形しますので絶対に行わないでください。
- 溶剤を用いたクリーニングや圧縮空気を吹き付けてのクリーニングはしないでください。フィルターに穴が開いたり、キズがつくとフィルターの性能が保てなくなります。

■各部のお手入れ方法

部品名	お手入れ方法
レンズ	
ヘッドギア	水を含ませた柔らかい布等で汚れを掃い落してください。
ダクトホース	消毒が必要な場合は、消毒用アルコールを染み込ませたガーゼ、布などで表面を拭き取り、その後しっかりと液分を拭き取ってください。
ファンユニット	フィルターユニットの内部(フィルター部)、ファンユニット内、電源プラグ等の金属部品に水滴が付着しないようご注意ください。
フィルターユニット	
バッテリー	
フード	フードに記載の洗濯表示にしたがってお手入れしてください。洗濯の際は、逆洗いをとりはずしてください。また、クリーンバック洗浄も可能です。
バッテリーポーチ	